



第1回学校運営協議会を開催しました

6月に入り、雨の恵みを受け、あじさいの花も日ごとに色づいてきました。
本校では、6月18日(土)に実施する「体育祭」に向け準備や練習を進めているところです。

今年度から、県内特別支援学校12校すべてに、学校運営協議会制度が導入されました。
この制度は、「地域とともにある学校づくり」への転換、地域との連携・協働を推進するための有効な仕組みであり、次のような役割を果たすことが求められています。

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べる



本校では、6月2日(木)に1回学校運営協議会を開催し、グランドデザイン及び今年度の重点目標について了承いただきました。(この手続きを経て、HPに「学校運営方針」を掲載しております)

続いて、今年度から始まった「特別支援学校地域連携強化事業」について説明しました。地元在住の「地域連携コーディネーター」を活用して、地域資源のデータベースづくり、地域への理解啓発、情報発信などを行っています。「農園芸に詳しい人はいませんか？」という学校のニーズに応じて、地域の方を紹介してもらい、高等部の作業学習でご指導いただいていることなどを紹介しました。



【高等部農園芸作業】
地域の方に教わりながら
小松菜の収穫をしました。

また、学校運営協議委員からは、「家庭や地域に信頼され、ともに歩む学校」を目指した本校の特色ある取組について、たくさんの提案をいただきました。

- 県立大学生と松ろう高等部生徒による手話カフェの企画・運営
- 古江公民館等で実施してきた「手話学習会」や「松ろう太鼓」の継続
- 古江地区のひと・もの・ことの活用、地域のコミュニティバスの積極的な利用
- 卒業後を見据えた関係機関(ろうあ連盟等)との連携強化
- 手話の理解啓発を目的としたカルタづくり

今後は、学校運営協議委員と連携・協働して、「地域とともにある学校づくり」の実現に向けて取り組んでいきます。地域連携強化事業の取組についても、HPで積極的に発信していきますので、忌憚のないご意見、ご感想をぜひお寄せください。